

目黒区消防団運営委員会（第3回）会議録

1 開催日時、場所

令和5年1月24日（火）午後2時00分から2時30分まで
目黒区総合庁舎4階特別会議室

2 出席者（敬称略）

(1) 委員長

青木英二（目黒区長）

(2) 委員

斉藤やすひろ（都議会議員）、伊藤ゆう（都議会議員）、西崎つばさ（都議会議員）、
西村ちほ（区議会議員）、武藤まさひろ（区議会議員）、金井ひろし（区議会議員）、
青木英太（区議会議員）、熊谷謙志（目黒消防署長）、三木廣（目黒消防団長）

(3) 事務局

目黒区：副区長、危機管理部長、防災課長
目黒消防署：警防課長

3 傍聴者

なし

4 諮問事項

「大規模地震発生時における特別区消防団の消火活動能力を向上させる方策はいかにあるべきか」

5 議事

答申（案）の最終審議について

6 配布資料

- (1) 目黒区消防団運営委員会委員名簿
- (2) 令和3年度特別区消防団運営委員会への諮問について（写し）
- (3) 諮問事項に対する答申（案）について
- (4) 特別区消防団配置の現行コンテンツ一覧
- (5) 特別区消防団新規資機材一覧（案）
- (6) 特別区消防団配置資機材一覧
- (7) 審議経過

7 会議概要

- (1) 開会
- (2) 委員長あいさつ
- (3) 委員の紹介
- (4) 会議の公開等の取扱について
- (5) 議事

答申（案）の最終審議について

事務局：前回審議した内容について、頂戴した意見を反映し一部内容を整理した。今回の審議では修正事項を再確認し、最終的な答申案を確定させていく。答申案の全体概要については詳細な説明は割愛し、前回から変更した4件について説明する。

【変更点①】

第2 新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた新たな環境の整備

2 デジタル環境の充実

(1) 「消防団アプリ」の作成

デジタル環境を充実させ、「消防団アプリ」を利用することで利便性を向上させる。アプリ内の地図上に各分団本部や器具置場の位置を表示するなどの「見える化」を図り、さらに各種報告についてもアプリ内で報告可能とすることで更なる利便性の向上や事務負担の軽減を図りたい、という意見のとおり文面の中に『また、「消防団アプリ」を活用し、消防署への各種報告や地図上において分団本部等の位置及び資器材の保管状況を把握できる仕組みを構築する。』という文言を追記する。

【変更点②】

第3 消防団員の入団促進

今後における消防団の役割として、より一層地域防災力向上の核としての活動が求められていることを踏まえて入団促進を図っていく必要がある、という意見のとおり、文面の中に「地域防災力の核となる」という文言を追記する。

【変更点③】

第3 消防団員の入団促進

2 募集広報の充実・強化

(1)の項目について、SNSを活用した各分団単位の情報発信は、日常の仕事を抱えながら、かつ消防団の活動をしている中、精度の高い発信をするこ

とは難しい、という意見であった。SNSを活用した広報活動を促進することは重要であるが、各分団単位での情報発信は負担が大きく、また、精度の低い情報発信には誤った情報を発信するという危険性が伴うことから、分団単位での情報発信については明文化せず、意見のとおり文面の、「分団単位」という文言を削除する。

【変更点④】

第3 消防団員の入団促進

4 大規模災害団員の入団促進

日中に発災した場合に備え、目黒区内の一定規模以上の企業に働きかけ、その企業の方々の入団を促進していくべきではないか、という意見について、日中に大規模災害が発生した場合、人員確保を図ることが非常に重要であることから、文面の中に「また、日中に震災が発生した場合、勤務地団員は即戦力となることから、企業への働きかけを行う。」という文言を追記する。

いずれも前回の運営委員会において頂戴した貴重な意見を反映させた。今回の内容を最終的な答申として都知事に報告したい。

委員長：答申案については説明のとおり、これをもって答申とすることに意見はないか。

各委員：異議なし

委員長：なしと認め、答申案を答申とする。

(6) その他

ア 審議経過

イ 目黒消防署長、目黒消防団長あいさつ

8 閉会

委員長：書面開催も含め3回の審議に積極的に参加いただき、委員長としてお礼を申し上げたいと思う。今後は様々な意見が具現化でき、消防団の活動が一段と改善され、区民の安全安心が高まることを期待している。